

本日は、私たち新入生のために、このような輝かしく、新たな一步を踏み出すにふさわしい門出をお祝いして頂き、心より感謝申し上げます。

春の日が心地よい今日この佳き日に、宮崎県立看護大学第23期生として入学できたことは、私たちにとって大変大きな喜びです。また、先ほど河野知事や平野学長を始め、多くの方々から頂きました温かい励ましのお言葉を心に刻み、夢に向かって大きく前進して参ります。

今日、日本では、少子高齢化が急速に進み、2025年には高齢者が3割を超えるとされ、看護の重要性も高まっています。

私たちは、この4年間の学校生活の中で専門的な知識や技術を習得すると共に、人に対する深い理解と倫理観を培い、豊かな人間性を養って参ります。

人間とは、看護とは、など答えを見つけることが難しいことも、一緒に学ぶ仲間、先生方や先輩たちと深めていき、患者さんの尊厳を大切にできる看護職者を目指します。

支えてくれる人たちへの感謝の気持ちを忘れず、一つ一つの出会いや発見を大切にしながら、宮崎県立看護大学の学生としての誇りと責任を自覚し、夢に向かって努力を重ねていくことを決意し、誓いの言葉と致します。

平成31年4月3日

新入生代表 甲斐 虹香